



NPO法人あい・友の新しい支部ができました！

「あい・友農園」のある長野県小県郡青木村に、NPO法人あい・友の新しい支部として「青木支部」が発足しました。農園責任者の猿渡氏、青木村在住であい・友の会員でもある青木京子さんを中心に、地元の方々にご協力いただき、支部の設立にいたりしました。

青木村の会員は、村長の宮原氏（名誉会員）をはじめ、現在12名の方が会員です。また、支部設立にあたり、NPO法人あい・友の主旨・目的である障がい者と高齢者の職場の創造のために、力強い味方になっていただける組織クロスロードとの出会いがありました。

知的障害者通所授産施設「クロスロード」は長野県千曲市に本部があり、青木村にも支部がある通所施設になっています。



▲前田代表理事による挨拶

【イベント特集】青木支部発足会

発足を記念して、11月8日に「あい・友農園」の前広場にて、「青木支部発足会」が行われ、参加人数総勢90名近くという嬉しい発足式になりました。晴天に恵まれたその日は、改装が終了した「NPO法人あい・友農園—青木村」の記念と青木支部発足の記念というダブルのお祝いの日でした。写真にもありますように、我々の門出を象徴するような虹がちょうど一ヶ月前に見られ、その時に我々の前途は輝かしいものになると喜んだ通り、素晴らしい日になりました。

朝早く見慣れない格好の車が到着

しました。それは大阪から夜を徹して走って来てくれたバーベキュー部隊の車でした。社宅の中は東京からの会員と大阪から到着した会員でごったがえしていました。皆嬉しさと嬉々として立ち働いていました。

嬉しいことに参加者の半分弱の方々は知的障害者通所授産施設「クロスロード」からの参加者でした。その上、青木村の役場の方々をはじめ、本部会員の河本さん（長野在住）を支部長に、新たに発足した青木支部の会員12人全員が参加してくださいました。式典には村長の代理として関課長と宮下係長にご参列いた

できました。

新しい看板も京都・東福寺の薬師・安部玄定和尚の毛筆では出ない力強さを木の根をほぐして書いてくれた看板の除幕式が、農園責任者でありかつ会員の猿渡氏と青木支部会員の青木京子さんによって執り行われました。



▲除幕式



◀あい・友農園から大きな虹が！



会員の上原さんの乾杯に続き、会員で俳優座の女優、岩崎加根子さんによる詩の朗読がありました。谷川俊太郎の“生きているということ”でした。会場を回りながらのパフォーマンスは集まった人に感動を与えてくれました。



◀お天気にも恵まれ、たくさんの方にお越し頂きました



▲上原氏による乾杯

ぼつぼつお目当ての焼き肉、焼きそば、てんぷら、豚汁ができはじめ、美味しそうな香りが漂いだし、お皿を持った嬉しそうな顔をした参加者の方が列を作ってくれました。作る人たちも力が入ります。

クロスロードの方々からの差し入れもあり、おかげさまでますます豪華なメニューになりました。マグロのカマの人気は高く、見ているうちになくなりました。会員が作っているのを見て、あまりの不器用さに見るに見かねたお客様が手伝ってくれるという微笑ましいこともありました。



▼青木支部長 河本氏による挨拶



▲「クロスロード」代表による御挨拶



▶俳優座女優 岩崎加根子氏による詩の朗読



最後には、お楽しみイベント「あみだくじ」の出番になりました。入場時に受付にて、「あみだくじ」に名前をご記入いただき、ドキドキの結果発表を行いました。豪華賞品が当たるとのことで、当たった方は大喜び！楽しいひと時でした。帰る際に、参加者全員にクロスロードで作っている入浴剤「バスボム」がお土産として配られました。

事務局だより

今回の発足会は、青木村役場をはじめ、「クロスロード」の方々、会員の方々の全面的なご協力がなくてはできませんでした。ありがとうございました。いろいろな事がありましたが、やっと一つの形が出来上がりがつつあることを認識し、感無量でした。

『青木村とは』

青木村は、長野新幹線上田駅から、車で30分ほど行った美しい山々に囲まれた農山地です。村の8割を山林が占め、主な産業は農業です。総人口は、4,811人（H22.10.31現在）。村には、田沢温泉や沓掛温泉があり、国宝大法寺三重塔も観光地として有

名です。

(NPO法人あい・友 ホームページ) NPO法人あい・友のHPにて、活動状況をご確認いただけます。また、ニュースレターのバックナンバーもご覧いただけます。

<http://www.aiyuu.org/>

(事務局長 高須賀 清)